



ふれあいネットワーク



社協 まつもと



私にもできる安全・安心な地域づくり

2017

1月

No.213

明けまして

おめでとうございます



地域福祉の向上を推進

松本市社会福祉協議会会長 渡辺 聡



明けましておめでとうございます。
皆さまには、希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より当会の事業推進にご理解、ご協力を賜っておりますことに對しまして、厚く御礼申し上げます。

さて、超少子高齢型人口減少社会の進展により、地域社会や家庭などの様相は大きく変容し、複雑多様化した福祉課題が顕在化してきています。こうした状況の中、地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを使命とする当会には、こうした地域社会の多様な課題を受け止め、その解決に向けた具体的な取り組みをして行くことが、強く求められています。当会におきましても、活動指針を示した「第三期地域福祉活動計画」のさらなる取り組みを

進めるとともに、高齢者が住み慣れた地域で生活することをめざす「地域包括ケアシステム」の構築に向けた日常生活支援体制の整備充実を図ってまいります。

また、社会福祉法の改正に伴い、事業運営の透明性を確保することや組織経営のガバナンスの強化、財務規律の強化など、社会福祉制度改革がなされることを受け、当会としても定款等の改正を行い、地域に根差した社会福祉法人となりますよう取り組みを進めてまいります。

当会といたしましては、今後とも市民の皆様をはじめ、関係機関・各種団体等との連携・協働を図りながら、「誰もが安全・安心に暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、役職員一丸となつて地域福祉の向上に努めてまいり所存でありますので、皆様の一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして、ご健康で幸多き最良の年となりますよう、心からお祈り申しあげ、年頭のごあいさつといたします。

住み慣れた地域で笑顔に過ごすために

松本城周辺を中心とした市街地に位置する中央地区では、町会連合会と地域づくりセンターが、松本市社会福祉協議会と連携して高齢者の困りごとを地域住民が解決する有償ボランティア制度「かかわり隊」を平成28年1月からスタートしました。



この制度は、高齢者家庭や一人暮らし世帯などの日常生活の中で起こる蛍光灯の交換、ゴミ出し、草取り・枝切作業、雪かきなど「ちょっとした困りごと」を、ボランティアが直接お宅を訪問して作業を行なうというものです。

かかわり隊員からは「高齢者宅を訪問すると、話し相手を求めていること、また一人暮らしの方は不安定な気持ちになる事があるということが分かり、日頃の声掛けが重要だと感じた」などの感想が寄せられており、新たな作業メニューなども考えています。

今後、有償ボランティア制度の活動を通じ高齢者を地域で見守る仕組みなどの地域課題にも対応できるよう検討し、かかわり隊事業を進めていきたいと思ひます。



今月の表紙は・・・

- ①山辺児童センターでの「しめ縄作り」。子どもからお年寄りまで、みんなで一緒に作りました。
- ②西部地区での「家族チャレンジ教室」。親子でそば打ちをしました。世代間交流もできてとてもよい体験が出来ました。
- ③四賀地区で開催されたボランティア感謝祭での昼食の様子。「社協ぷくぷく農園」で採れた食材を使用して職員が調理しました。日頃の活動の話しにも花が咲きました。
- ④北部デイサービスセンターでクリスマスツリーを飾りつける利用者。どこに付けようかしら♪
- ⑤cafeポリジがオープンして5カ月がたちました。笑顔で接客をするメンバー。いらっしやいませ♪



子ども達の笑顔があふれる児童館まつり

11月5日(土)に南部体育館で850名の参加者が集い「第2回児童館まつり」が開催されました。

信明中学校吹奏楽部の演奏と児童館登録児童たちによるダンスのコラボに始まり、様々な工作や福祉体験、日赤奉仕団による非常食体験など多くの活動を楽しみました。また、高校生ボランティアの皆さんにも参加いただき、子どもたちと卓球を楽しむなど、微笑ましい場面も多くみられ楽しい半日を過ごしました。



地区センターで行なわれた福祉や健康の集い



松本市社協の各地区センターでは、毎年福祉や健康についての集いを開催しています。

四賀地区では、10月16日(日)に四賀支所ピナスホールにおいて福祉の集いが行なわれ約320名の方が来場しました。福祉に貢献した方々への感謝状贈呈式に続き、シンポジウムで「住み慣れた四賀地区で安心してくらすための地域づくり」と題してみんなで話しあいました。そして「気軽に集まり、話し笑い、困りごとや不安を発信できる場づくり、自分のできること、得意なことを発信し、いずれ自分も支えられる立場になるという意識づくり、若者にも地域づくりに関心を持ってもらえるよう住民みんなが課題解決していく事が重要である」と「地域づくり」への理解や協力を呼びかけました。



西部地区では、11月19日(土)に波田文化センターアクトホールにおいて福祉と健康のつどいが行なわれ約200名の方が来場しました。1部ではシンガーソングライターの中村雅彦氏による「歌うこと健康であること一緒に考えましょう」という歌に焦点をあてた講演で、一緒に歌をうたって会場は明るい雰囲気になりました。続いて2部では松本市立病院副院長の中村雅彦氏による「地域で支える認知症介護」についてのお話から、認知症介護を支えていくうえでの大切なことを教えていただきました。昔はどこにでもいた「世話好きおばちゃん」
「頼りになる若者」が認知症の方を地域で支えるためには、不可欠ということが心に残りました。

社協の有償ホームヘルプサービス事業をご存知ですか？

生活の困りごとを安価でお手伝いするサービスです。市民の皆さんの善意による協力会員が、高齢者等のゴミだしやお掃除、通院介助などを手伝ってその方より快適な在宅生活をサポートします。

利用料金は年会費1,000円 他にサービスを利用する際に下記の通り利用料がかかります。

①生活援助（掃除や洗濯、調理など）1時間800円

②身体介護（通院の付き添い、着替え等の介助）1時間900円

③ゴミ出し 1回100円



介護保険にかかわらず、どなたでも利用できます。お気軽にご相談ください。

また、支援していただける協力会員も随時募集しています。

●問い合わせ 松本市社協北部地区センター 電話38-7670



2月4日にボランティア交流集会

ボランティアをしている皆さんの活動発表や講演会を開催します。

大勢の皆さんのご参加をお待ちしています。

❖期 日 2月4日（土）

❖会 場 松本市総合社会福祉センター
4階 大会議室

❖日 程 9:15～受付
9:30～ウェルカムコンサート
10:00～開会

（午前の部）10:10～12:00 活動発表

（午後の部）13:30～15:00 講演会

●問い合わせ 松本市社協ボランティアセンター
電話25-7311

総合社会福祉センター改修工事について

松本市社協の事務所が入っているセンターの改修工事が平成29年4月から始まります。

概ね3年間、会議室等の貸館ができなくなりますのでご承知おきください。ご不便をおかけしますが、宜しくお願い致します。

こんにちは民生委員・児童委員です

平成28年12月に民生委員・児童委員さんの改選が行なわれ、一部の方が交代しました。

子どもからお年寄りの方まで見守り等、「安全・安心なまちづくり」のため活躍されている皆さんです。何か困り事などがありましたら、お住まいの担当民生委員さんへ気軽にご相談ください。

日赤社資&赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました



ハートラちゃん

今年度ご協力いただきました社資については災害支援をはじめ国際活動、救急法の講習普及等の事業に活用させていただきます。また、募金については地区や市内全域の福祉事業に活用させていただきます。



愛ちゃんと希望くん



発行 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 編集 「社協まつもと」編集事務局
住所 〒390-0833 松本市双葉4番16号
電話 27-3381 FAX 27-2239 E-mail: syakyoum@avis.ne.jp
ホームページ <http://www.syakyo-matsumoto.or.jp>

『社協まつもと』はみなさんからの共同募金の配分金で発行されています。